

2018～2023 年度(総括) 分野別計画進捗等報告書	体系番号 05010103
------------------------------	------------------

1.計画名称

茅野市道路河川等整備計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	橋梁修繕は、第2期橋梁長寿命化計画(R2～R6)、舗装修繕は、第2期舗装集中修繕計画(R2～R6)に基づき、カーブミラー他道路付属施設等の更新は、道路バトロールや地元要望などからの情報提供をいただき、速やかに進めることができている。幹線道路の1級18号線は用地買収を実施し工事着手に向け地元調整を続けている。
今後の重点化施策番号	3	説明	橋梁修繕は、第2期橋梁長寿命化計画に基づき、舗装修繕は、第2期舗装集中修繕計画に基づき、1級18号線は交付金事業(強靱化事業)により計画的に進める必要がある。舗装修繕事業は交付金事業ではあるが、交付金の内示率が低いため、財政状況を鑑みながら進めていく必要がある。関係する市民団体はない。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	道路・河川管理対策	おおむね順調	(R5・総括評価共通) 1 道路破損の早期発見、補修を行い、事故が発生しないよう努めた。 2 発見された道路の未登記については、積極的に地権者に説明し解消に努めた。	(R5・総括評価共通) 1 市内道路は全体的に老朽化が進んでいるため、改修や早期の修繕を行っていく必要がある。 2 土地所有者の合意や協力がが必要であるが、相談などの問題があり、今後はさらに解決が難しい案件が増えると思われる。	1 人員が削減されている中で、道路修繕に対応できる体制を検討していく。 2 登記についての法改正が進められているので、それに対応し未登記処理が進められるよう検討を行う。
2	道路・河川維持対策	おおむね順調	(R5・総括評価共通) 地区要望箇所は概ね対応した。(87.0%)	(R5・総括評価共通) 道路施設等の老朽化が著しく、劣化の速度が加速していること、人件費と材料費の上昇により工事費の高騰が懸念される。	補修修繕実施箇所の優先順位の決定と複数箇所をまとめて発注といったコスト削減の工夫が必要である。
3	道路・河川建設対策	おおむね順調	(R5・総括評価共通)舗装集中修繕事業は、第2期工事(R2～R6)に位置付けた個所に着手し計画的に実施している。 交付金事業はメンテ事業(橋梁修繕、点検)は第2期橋梁長寿命化計画に基づき計画的に進められた。1級18号線はR5年度から用地買収などを行い事業再開した。	(R5・総括評価共通)メンテ事業(橋梁修繕)については、経過観察中の18橋の修繕方針と通行規制している4橋の対応を検討する必要がある。 交付金事業について、有利な交付金(強靱化事業)を利用して、1級18号線早期完了に向けて確実に補助金の確保をする必要がある。	メンテ事業(橋梁修繕)について、経過観察中の18橋の修繕方針を検討し、橋梁損傷度の高い橋梁については早期工事を実施していく。 1級18号線の工事実施を効率的に実施できるよう、国庫補助金の補正予算や管内流用を積極的に活用していく必要がある。
4	交通安全対策	おおむね順調	【R5・総括】 ハード面では、倒壊の恐れのあるミラーの更新や自治会等からの要望に対し効果的に実施を行っている。 ソフト面については、新型コロナの影響により数年は実施ができていない状態であったが、令和5年からは通常に行っており関係機関との連携も図れている。	【R5・総括】 限られた予算の中で交通安全施設の保全設置を行っているため、優先順位を低くしている道路区画線の劣化が見られ、また歩行者保護のポールについても限定的な対応となっている。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。
5	地籍調査対策	おおむね順調	(R5評価) ・玉川11区(FⅡ-2,G,H工程)0.02km ² の実施 ・宮川1区(FⅡ-2,G,H工程)0.15km ² の実施 ・宮川2区(G,E,FⅠ,FⅡ-1工程)0.17km ² の実施 (総括評価) ・玉川6区～11区0.93km ² ・玉川1区～2区0.32km ²	(R5・総括評価共通) 第7次十箇年計画で糸魚川・静岡構造線上の宮川・金沢地区(新井・高部・安国寺・西茅野・西山・坂室・木舟・大池・新金沢・金沢)を選定。 実施地区を「防災減災対策エリア」へ移行、宮川地区へ計画区域を変更した。宮川2区(高部)は土砂災害想定地域の補助率が良くなった。宮川7区からは平坦地のため、補助率が低く抑えられてしまう可能性がある。	第7次十箇年計画を継続実施。糸魚川・静岡構造線上の宮川・金沢地区(新井・高部・安国寺・西茅野・西山・坂室・木舟・大池・新金沢・金沢)を選定。 急傾斜地であり、災害発生地の宮川2区(高部)を実施。補助率が良くなった内示が出た。 国では即座に災害に結びつく箇所や南海トラフ地震の津波被害が予想される沿岸部に集中して補助金を出しているため、国の動向を注意深く注視していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		